

高校生アスリートが日本一を争う全国高校選抜大会は19日の柔道、自転車を皮切りに31日まで21競技が全国各地で集中開催される。兵庫県ではなぎなた（21日・伊丹スポーツセンター体育館）で熱戦を展開。新型コロナウイルスの影響で中止となったボクシングは、代わりに特別大会が22日から徳島市で実施される。兵庫ゆかりの話題チームを紹介する。

兵庫の精鋭羽ばたけ

競技	日程	会場	競技	日程	会場
体操	28日	北海きたえーる	ボート	26～28日	浜松市天竜ボート場
新体操	25、26日	北海きたえーる	剣道	26～28日	春日井市総合体育館
卓球	26～28日	津市産業SC	レスリング	24～26日	新潟市東総合SC
ソフトテニス	28～30日	名古屋市ガイシプラザ	テニス	21～26日	博多の森テニス競技場ほか
ハンドボール	24～29日	山梨県小瀬スポーツ公園体育館ほか	自転車	19～22日	久留米競輪場ほか
バドミントン	25～28日	宝来屋郡山総合体育館ほか	重量挙げ	26～28日	金沢市総合体育館
ソフトボール			フェンシング	29～31日	丸善インテックアリーナ大阪
男子	26～29日	紀の川市民公園多目的広場ほか	空手	24～26日	東京体育館
女子	20～23日	大田原市美原公園ほか	アーチェリー	27、28日	掛川市つま恋リゾート彩の郷第1多目的広場
相撲	20、21日	高知県立春野総合運動公園相撲場	なぎなた	21日	伊丹SC体育館
柔道	19、20日	日本武道館	少林寺拳法	27、28日	善通寺市民体育館ほか
			ラグビー	25、26、28、29、31日	熊谷ラグビー場ほか



2年連続の出場権をつかんだ剣道女子団体の明石のメンバーら
＝明石市の同校

剣道女子団体

2年連続で出場権を得た剣道女子団体の明石。コロナ禍で前回大会が中止となり、初出場が一度は消えた。だが、経験豊富でチームワークも強固な2年生が引っ張り、県新人大会を2連覇。再び春の全国切符を手にし、喜多山瑞希主将は挑戦者として全国で勝つと意気上がる。

下級生主体で挑んだ2019年

再びつかんだ“初出場”

■ 明石 ■

は真総体で準優勝、秋の県新人大会団体で初優勝と躍進した。創部初の全国選抜大会を決めた部員は、学校関係者約80人による壮行会で激励を受け気持ちも高まっていた。

だが、未知のウイルスに阻まれ大会は中止に。目標にしていた全国総体もなく、部員1人で引っ張ってきた3年生の主将は最後の年に公式戦を経験できず引退した。「先輩と一緒に悔しい思いをした」と喜多山。部活動が再開した6月から後輩の指導を受け入れてくれた先輩の姿に奮い立つものがあった。

夏の強化練習では、4日間で30時間以上竹刀を握り、毎回の遠征後、月曜日に20分ミーティングで課題を確認し合った。今季は副将3人で主将を支え、1年時に県新人大会個人を制した堂垣采夏も「オフでも大会のことをみんなで振り返っている」と一体感を強調。就任7年目の寺井雄監督が導入した公式戦前日の大掃除で心を新たに、勝負の日を迎える。

「挑戦 歴史を作る 全国選抜で勝つ」「本気の挑戦者が一番強い」。剣道場には、毛筆で力強く書かれた模造紙が掲げられている。「昨年の11月に掲げた目標で『あえて残している』と寺井監督。止まった時間を動かす時が来た。」

(尾藤央一)